



いち早く支配下登録へ  
「率を残せる打者になる」

プロへの挑戦。  
活躍誓う4人のルーキー

ソフトバンク育成4位(八学光星高)

# 中澤

Koki Nakazawa

# 恒貴

なかざわ・こうき 2005年7月生まれ。東京都出身。埼玉・春日部共栄中―八学光星高3年。遊撃手。元巨人の高橋由伸に憧れる。178センチ、84キロ。右投げ右打ち。

(高工院) 並み光西

2年連続で夏の甲子園を経験した18歳が、憧れのプロの世界に飛び込む。昨夏の甲子園では思うような個人成績を残すことができず、アビール不足に終わったが、逆方向へ強く打てる技術が高く評価された。「いち早く支配下登録されるように頑張りたい」と言葉に力がみなぎる。

最大の売りである打撃を生かし、夏は甲子園に出場したい―と進学した八学光星高では、1年の秋からレギュラーの座を獲得。2年時に初めて聖地の土を踏んだ。

その年の秋、新チームになり、主将に就いた。初の公式戦となる秋季県大会ではまさかの初戦負け。本人にとっても敗戦は衝撃だった。

ばらばらのチームをどうしたらまとめられるのか。悩みに悩んだ末、「全力で練習に取り組む姿勢を見せることで、みんながついて来てくれるかなと思った」。一切妥協しない姿を示したことで、徐々に一体感が生まれるように。春の東北大会では14大会ぶりの優勝、夏は2年連続の甲子園出場を果たした。

聖地では、打率1割台と打撃面で振るわなかったが、背中でチームを引っ張り、ベスト8入りに貢献。光星での3年間は「精神面で大きく成長できた期間だった」。

ソフトバンクから育成指名を受けたが、もちろんこれで満足はしていない。「良いところはどんどん吸収していく。将来的には率を残せるバッテリーになりたいと夢を描く」。